

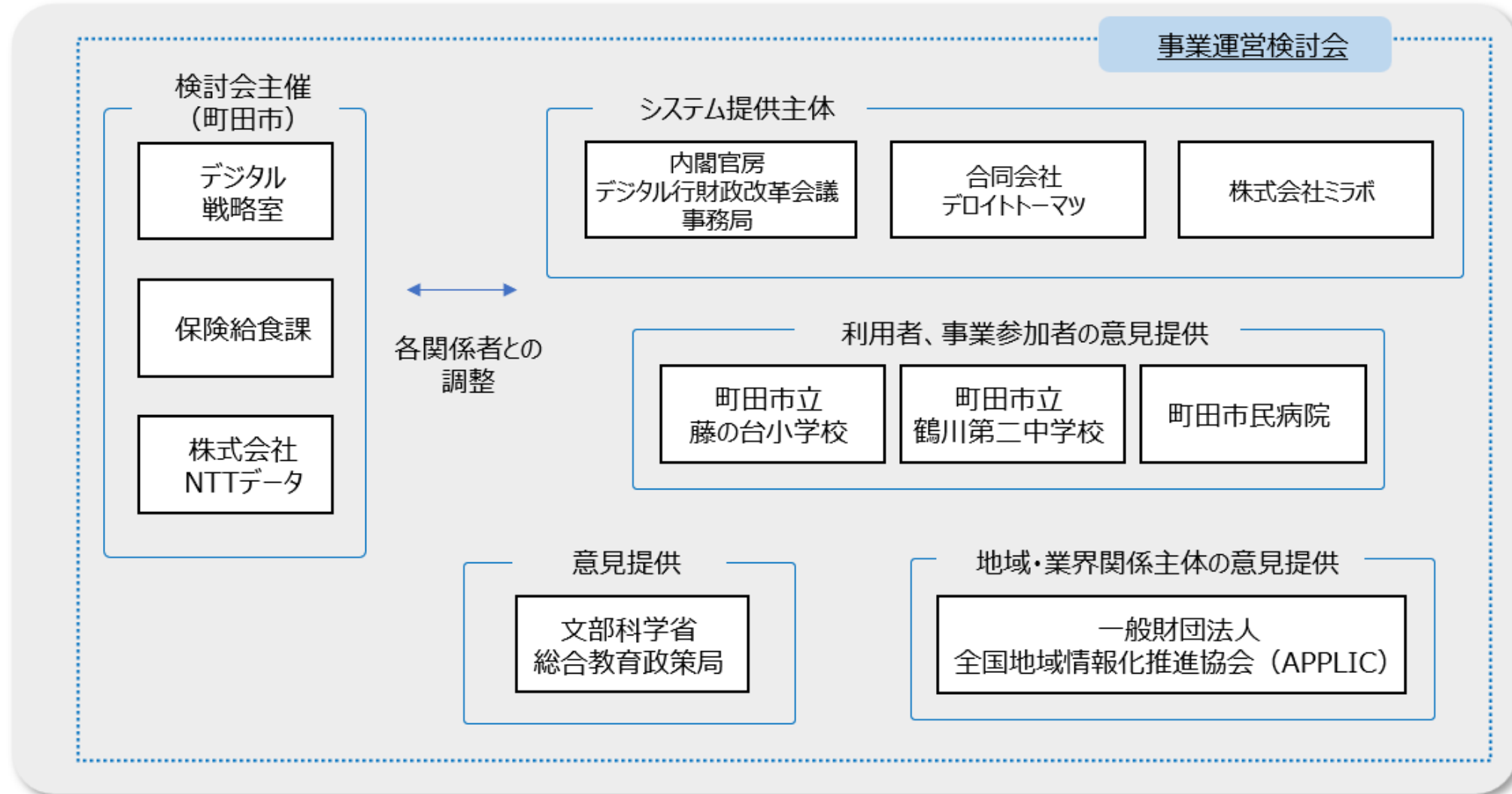
The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

学校保健DX(PMH-WEB) 効果検証／事業運営検討会

町田市

事業運営検討会の全体像

本検討会は、本実証の進捗確認および課題整理を通じて、学校保健DXの実装モデルの妥当性を確認し、今後の展開方針を共有する場として位置づける。



目次

1. 本日の目的(決定事項／持ち帰り事項)
2. 背景
3. 実証の目的
4. 実証の全体像(1枚絵)
5. 実証範囲(スコープ)と前提条件
6. 実証対象者・役割説明(誰が何をやるか)
7. 成果指標(KPI)と評価観点
8. スケジュール(マイルストーン)
9. 体制・役割分担

1. 本日の目的(決定事項)

- 本日の事業運営検討会にて合意したい事項は以下の通りです。
- ・実証事業の背景・目的の説明、実証参加への合意
- ・実証スコープ・前提条件の説明、合意
- ・スケジュール(マイルストーン)のご説明
- ・実証体制のご説明

本日のアウトプット
決定事項の確定版資料(本資料)

2. 背景

【背景】

学校保健分野では紙・手作業に依拠した手続が多く、学校・保護者・医療機関に事務負担や非効率が生じている。医療DX・デジタル行財政改革の動向を踏まえ、PMH(Public Medical Hub)を学校保健へ拡張し、関係者間の情報共有と手続のデジタル完結・ワンスオンリーを目指す。本実証は、交付金(デジタル実装型:TYPES)事業「学校保健DXに向けたデータ連携基盤の構築」に位置付けられる。

「学校保健」に係る手続に関する課題

Point

- 市町村独自様式の書面を前提とした手続があり、手書きの作業や書面の授受などの負担が生じる
- 母子保健や地域医療との間で、システムやデータが必ずしも連携していないことなどにより

学校、保護者、医療機関それぞれに手続上の負担や非効率が生じている

イメージ例

学校では、



- ✓ 全校生徒分の紙の保健調査票を管理し、必要時に学年・クラスごとに配布（※毎年、同一の調査票に追記するため、各児童生徒への正確な配布が必要）
- ✓ 感染症発生等の危機対応にも、過去の予防接種記録や母子保健情報の共有が重要。

保護者は、



- ✓ 保健調査票等への手書きでの回答が負担。予防接種記録等の転記ミスが生じる恐れもある
- ✓ 健康診断後の診断結果や受診勧告が紙で配布されることで、紛失のリスクがある

医療機関は、



- ✓ 紙の健康診断結果等の確認や受診勧告書への手書き記入が負担
- ✓ アレルギー疾患に係る情報などを直接学校に提供する仕組みが無いことで、学校との連携が取りにくい場合があるという懸念も

3. 実証の目的

【目的】

PMHを活用した学校保健の情報連携基盤の有効性を検証し、令和8年度以降の本格実装に向けた実装モデルを具体化する。
業務時間・事務負担の軽減効果、利便性・満足度、情報共有の質の向上への寄与を、時間測定・ヒアリング・アンケート・インタビューで定量／定性評価する。
検証結果を踏まえ、システム仕様・連携方式、業務フロー課題、現場運用上の留意点を整理し、改善方策を提示する。

時間・負荷

学校・保護者・医療機関の
事務負担／所要時間の軽減

利便性、満足度

オンライン・ワンスオンリー化による
満足度向上

情報連携

関係者間の情報共有の質の向上

実証参加者様にご協力いただきたいこと

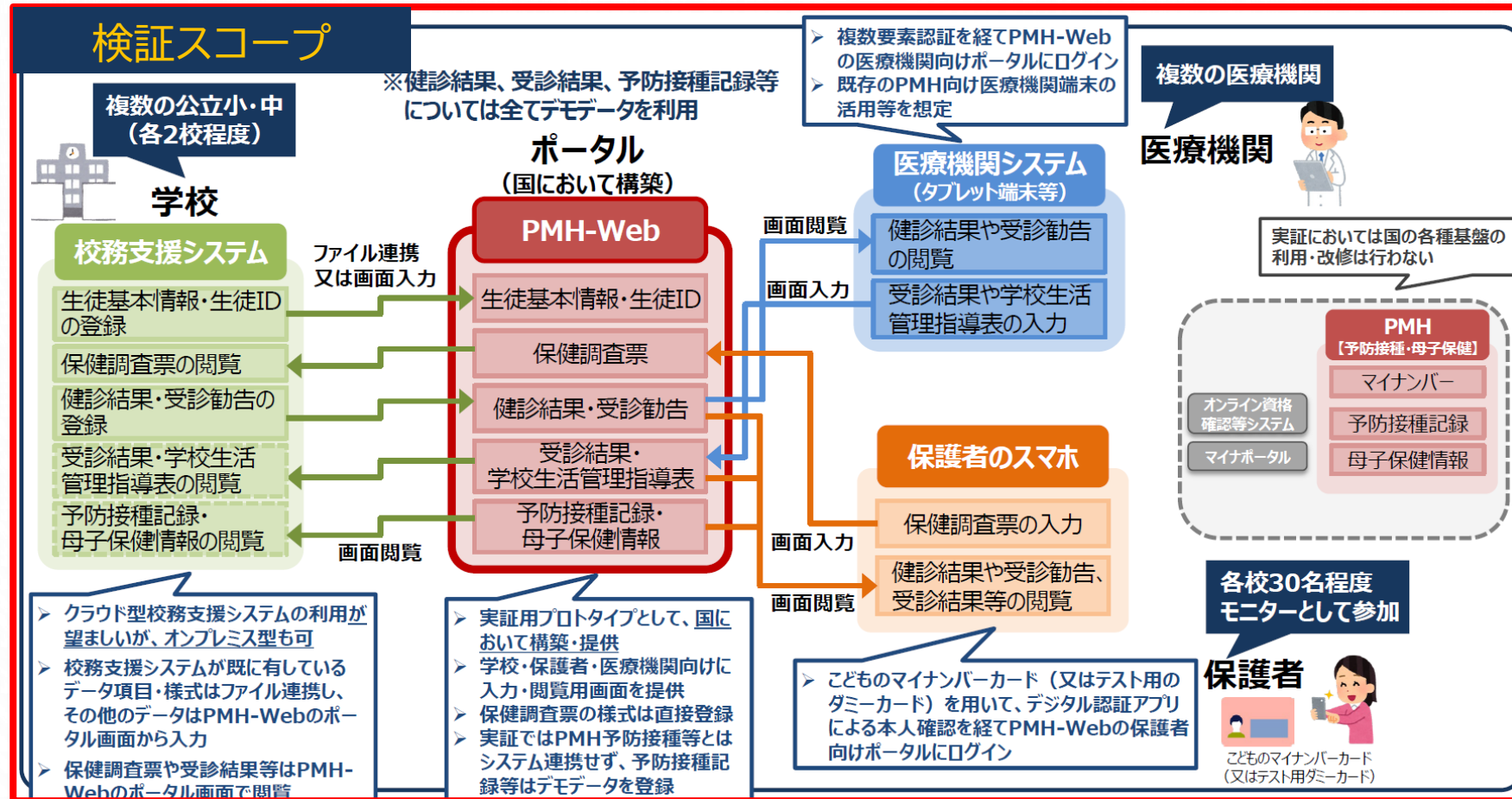
令和8年度以降の本格実装に向けた効果検証です。評価(良い／悪い)は率直に、現場感に基づいてご回答ください。

結果は個人の評価ではなく、業務・システム・運用の改善材料として取り扱います。

「うまくいった点」だけでなく「迷った点・負担に感じた点」も、重要な成果として扱います。

4. 実証の全体像(1枚絵)

PMH (Public Medical Hub)を校務支援システムや医療機関システム、マイナポータル等と連携することで、学校保健に関する各種手続のデジタル完結・ワンスオンリーと学校・保護者・医療機関間の情報共有を併せて実現する学校保健分野の情報連携基盤の構築を目指す。



5. 対象範囲(スコープ)と前提条件

【対象業務】

「紙運用」と「PMH-Web運用」を同一条件で比較し、

ストップウォッチ計測、ヒアリング、アンケート、インタビューで評価する。

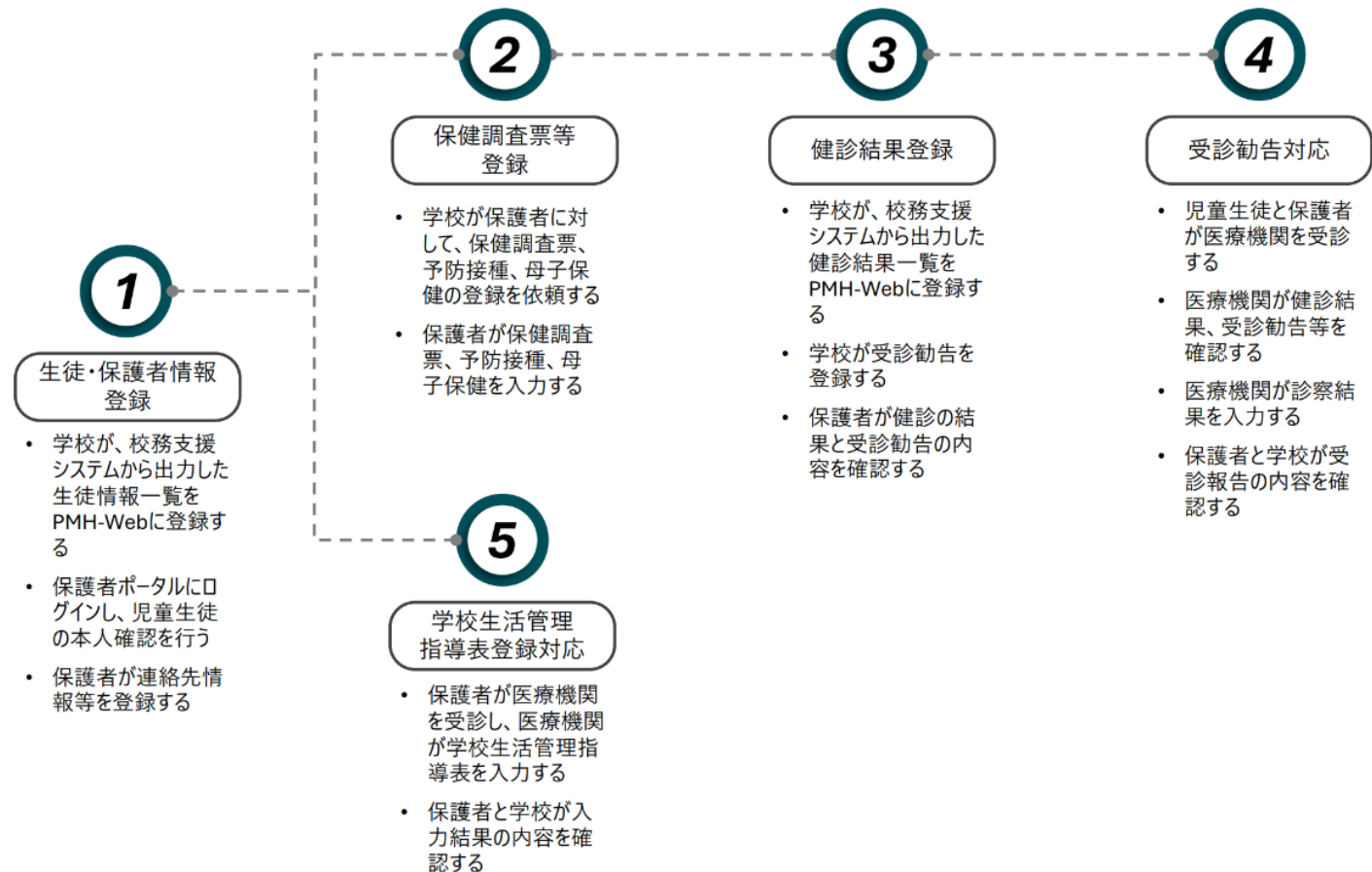
対象: 学校健診を起点に、医療受診～学校生活管理指導までの一連業務

【前提条件】

登録情報はダミーデータのみ。

個人情報には取り扱わない。

業務概要一覧



6. 実証対象者・役割説明

実証関係者ごとに、実際の運用を想定し、効果検証を進める。

学校(養護教諭)

【参加者】

小学校から養護教諭 1名
中学校から養護教諭 1名

【実施概要】

健診結果(ダミー)を登録し、受診勧告の発行・配布やステータス管理を実施する。
PMH-Web上で保護者入力内容・予防接種等の閲覧・確認を行う。
紙運用(現行手順)とPMH-Web運用を同一シナリオで実施し、所要時間等を計測する。

保護者(町田市職員代替)

【参加者】

町田市職員:50名
(小学校児童保護者、
中学校生徒保護者役で
計2回ずつ測定)

【実施概要】

指示書(別途配布)に従い、保健調査票等の入力・提出、健診結果の確認を行う
(ダミー児童生徒データを使用)。
受診勧告受領後の対応(受診報告・学校生活管理指導表)を、紙運用とPMH-Web運用で実施する。

医療機関

【参加者】

町田市民病院
-小児科医 3名

【協力者】

株式会社Kids Public
-代表取締役 橋本直也氏(小児科専門医)
※(一社)こどもDX推進協会より推薦

【実施概要】

受診勧告や学校生活管理指導表依頼内容を確認し、診察結果として受診報告・学校生活管理指導表等をPMH-Webに入力する。
診察判断に必要な材料(過去情報等)は紙提示を併用しつつ、PMH-Webでの情報参照・入力手順を検証する。
現実に即した内容となるよう、小児科専門医による監修を受けた上で患者となる児童生徒のペルソナを設定する。
紙運用とPMH-Web運用を同一条件で実施し、所要時間・負担感・情報共有の質を評価する。

7. 成果指標(KPI)と評価観点

実証の効果検証結果は、成果指標(KPI)を定め、事務負担・所要時間、満足度、情報共有の質の3軸で評価する。

測定方法

所要時間の削減(分):時間の実測、ヒアリング等
利用満足度/使いやすさ(点):参加者アンケート
ペーパーレス(削減枚数):参加者アンケート

評価の観点(対象者別)

学校:健診結果・受診勧告対応等の事務時間、
ポータルを使いやすさ
保護者:保健調査票等の入力負荷、
入力に必要な情報準備の分かりやすさ
医療機関:受診・指導表作成に係る確認/入力の負荷

8. スケジュール(マイルストーン)

紙運用測定、PMH-WEB測定(実測+アンケート/インタビュー)までの
主要イベントと実施時期を示す。

主要マイルストーン

●事業運営検討会 第一回(キックオフ)

実証参加者(代表者)に対して、実証の目的・背景・概要を説明する。

●参加者説明会兼紙測定

実証参加者に対して、実証の主旨、流れを説明し、併せて紙運用の所要時間計測を行う。

●事業運営検討会 第二回(中間報告)

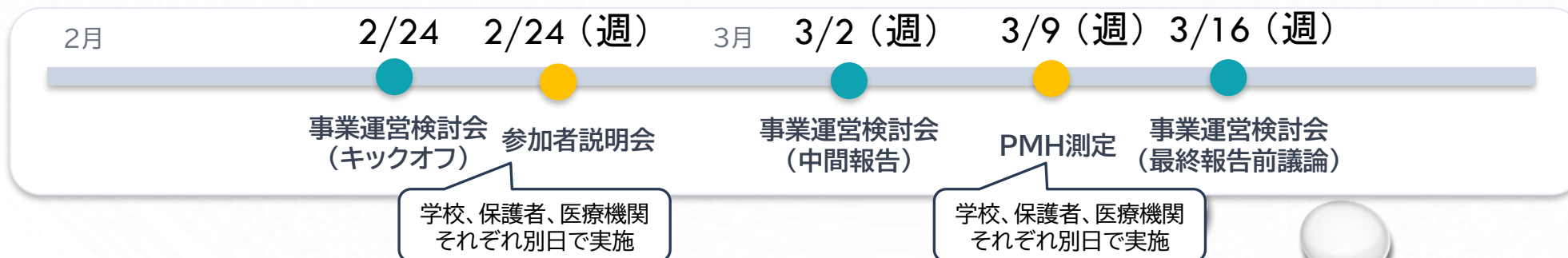
実証参加者(代表者)に対して、紙測定の暫定結果の共有、および、PMH-Web測定の準備状況の確認を行う。

●PMH-WEB測定(実測+アンケート/インタビュー)

実証参加者が指示書(シナリオ)に沿ったPMH-Webの操作を行い所要時間計測を行う。併せて実証参加者にアンケート・インタビューを行い、満足度や改善箇所等を抽出する。

●事業運営検討会 第三回(最終報告前議論)

実証参加者(代表者)と関係者間で実証の取得結果を共有し、実証に関する成果・課題等を議論する。



(参考). スケジュール

紙運用測定、PMH-WEB測定の具体日について引き続き個別調整をさせていただきます。

2026年2月

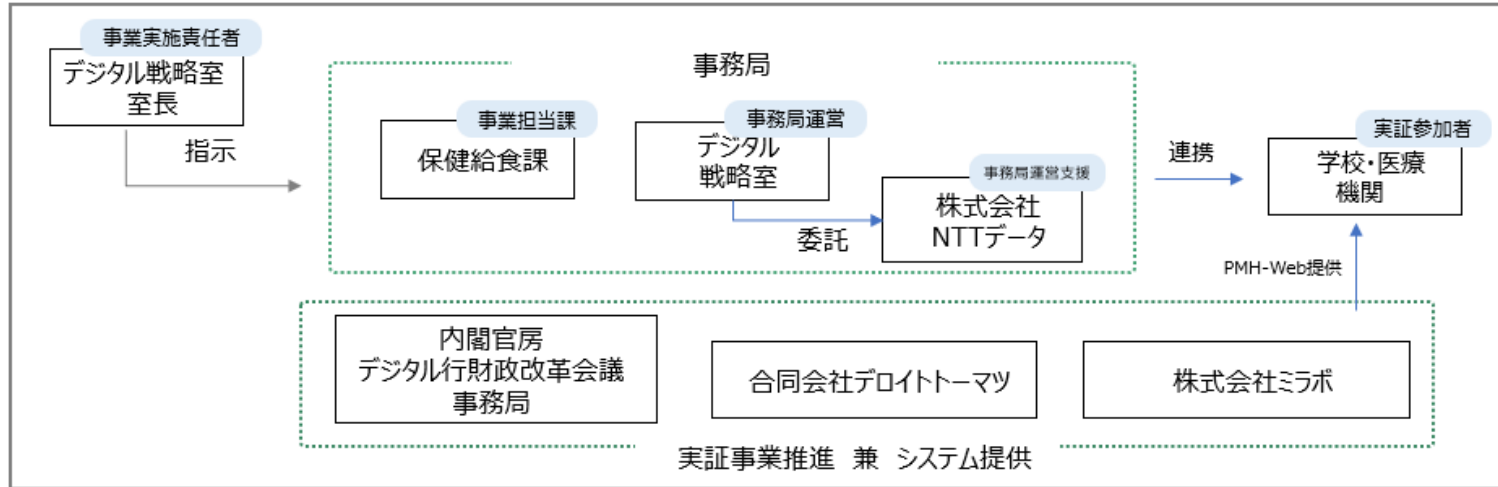
日	月	火	水	木	金	土
22	23 天皇誕生日	24 保護者 紙測定 AM 事業運営検討会① (確定)	25 保護者 紙測定 AM 医療機関 紙測定 14:30~15:30	26 医療機関 :測定 14:30~15:30	27 保護者 紙測定 AM 学校 紙測定 (藤の台小学校様) 14:30~	28

2026年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 事業運営検討会②	4	5	6 学校 紙測定 (鶴二中学校様) 16:00~	7
	保護者 PMH測定 09:00~17:45					
8	9 保護者 PMH測定 (予備日)	10	11 医療機関 PMH測定 14:30~15:30	12 医療機関 PMH測定 13:00~14:00	13	14
15	16	17	18 事業運営検討会③	19	20 春分の日	21
	報告書作成					
22	23	24	25	26	27	28
	レビュー					
29	30 最終化	31 予備日				

9. 体制・役割分担

本実証における体制・役割分担を示す。



【各課室の役割】

役割	名称	具体的な業務内容
事業実施責任者	デジタル戦略室 室長	<ul style="list-style-type: none"> 事業全体のマネージメント・進捗管理
事業担当課	教育委員会 保健給食課	<ul style="list-style-type: none"> 連携組織との調整、実証の一次問い合わせ窓口 TEL:042-724-2177 MAIL:machida-pmh-contact@hml.nttdata.co.jp
連携部署	デジタル戦略室	<ul style="list-style-type: none"> 事務局運営
事務局運営支援	株式会社NTTデータ	<ul style="list-style-type: none"> 事業全体のマネージメント・進捗管理の支援
実証事業推進 兼システム提供	内閣官房 デジタル行財政改革会議事務局 合同会社デロイトトーマツ 株式会社ミラボ	<ul style="list-style-type: none"> 本実証の推進、PMH-WEB提供者